

採血・注射を受けられる患者様へ

採血や静脈注射を受けていただく患者様にお知らせとお願いがあります。よくお読みいただき、わかりにくいところがありましたら、ご遠慮なく、お近くの職員におたずねください。

【お知らせ】

採血(静脈注射)は、左右どちらか腕の肘の静脈、前腕の静脈、手の甲の静脈のいずれかから行います。ただし肘の小指側の血管および手首の親指側の血管、透析用シャントのある側や乳房切断後側の腕の血管、血腫・感染・やけど痕・重症のアトピー性皮膚炎のある個所の血管などは医学的理由により使用いたしません。

血管壁の硬化や肥厚がある場合、頻回の採血で皮膚が硬化している場合、細いあるいは穿刺しにくい血管しか選択できない場合などは採血をやり直させていただく場合があります。血管が出にくい場合には、手を数回開いたり閉じたりする、採血部位を軽く叩く、採血部位を蒸しタオルなどで暖めるなどさせていただきます。ご了承ください。

採血(静脈注射)ではまれに以下のような合併症が起こりえます。

不安緊張の強い方では、採血(注射)中あるいは直後に一時的に血圧が低下する(いわゆる脳貧血、正しくは**血管迷走神経反射**といえます)ことがあります。(頻度約0.8%)

通常横になって休めば回復します。

採血(注射)後、穿刺した血管から血液が漏出し皮下出血や皮下血腫を起こすことがあります。(頻度約0.2%)

ごくまれ(約0.01%程度)ですが、穿刺時に末梢神経を損傷することがあります。残念ながらこれらを完全に予見・予防することは出来ません。穿刺時に手や指に走る痛み、しびれ、重苦しい感じなどがある場合はすぐにお知らせください。ほとんどの場合はしばらく後に消失しますが、長く続く場合はペインクリニックなど専門医の治療が必要となる場合があります。

【お願い】

採血(静脈注射)後、5分程度採血したところを**もまらず**にしっかりと押さえ、止血してください。また採血したほうの腕で重い荷物を持つことはできるだけ避けてください。

。アスピリン、ワーファリンなど血を固まりにくくするお薬や血液をさらさらにするお薬を服用中の方はお知らせください。

アルコールまけやバンソウコウにかぶれる方はお知らせください。

【さいごに】

ご不明の点などありましたら、ご遠慮なく、お近くの職員(医師・看護師・臨床検査技師)にお尋ねください。

